



はくい (HAKUI)

設置目的

- ① 市民に市議会の活動状況、情報を提供し、
- ② 市民との意思疎通手段を多重化しながら、
- ③ 市民の要望を市政に反映させるとともに、
- ④ 分権時代に向けた市議会の活性化を図る。

平成27年7月号(2015)

市議会だより

No.66

発行者／石川県羽咋市議会

編集者／市議会だより編集委員会

住 所／〒925-8501 石川県羽咋市旭町ア200番地

TEL 0767-22-7160 FAX 0767-22-7210

<http://www.city.hakui.ishikawa.jp>

主な内容

一般質問…………… 2

各委員会報告…………… 7

市民の声…………… 8



農薬、除草剤、肥料すら使わない自然栽培のズッキーニ

平成27年第2回定例会の概要

平成27年第2回羽咋市議会定例会が6月1日から6月16日までの16日間開催された。提出された議案は、平成27年度羽咋市一般会計補正予算案など議案4件、報告8件。

初日の提案理由説明で山辺市長は、人口減少と地域経済の縮小を克服する国の地方創生に呼応し、市長を本部長とする「羽咋市 まち・ひと・しごと創生本部」を立ち上げ、総合戦略および人口ビジョンの策定に向けた取り組みを進めていることを説明した。また、がんばる羽咋創生プログラムの主な事業の進ちょく状況についても説明した。6月8日の質問日では9人の議員が質問に立

ち、新規就農・移住の促進、道の駅、羽咋駅周辺の整備、志賀原発の再稼働などを質問した。

最終日の採決では、平成27年度羽咋市一般会計補正予算案など市長提出議案2件、報告8件を全会一致または賛成多数で原案のとおり可決、承認。請願5件のうち1件を全会一致で採択、3件を不採択、1件を継続審査とした。また、追加された議員提出議案第3号「教育予算の拡充を求める意見書」を可決、市長提出議案第36号「千里浜財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて」を同意した。



松永 幸則 議員

将来の羽咋市のために 新たな取り組みを



ボランティアは人の為だけでなく自分の健康寿命も延ばす

健康のためのボランティアポイント制度を

【質問】 65歳以上の市民が市内の介護保険事業所でボランティア活動に参加した場合、換金可能なポイントを付与するボランティアポイント制度が、全国約200の自治体で取り入れられている。本市においてもこういった制度の実施を導入できないか。

【答弁】 高齢者の社会参加や社会的役割を持つことは生きがいや介護予防につながるものであり、高齢者が高齢者の支え手として活動することは、地域におけるつながりを構築できる点でも重要である。現在各種団体が行っているボランティア支援の取り組みや、先進自治体における活動内容などを勘案し検討する。

子どもたちのための先進的な教育を

【質問】 すぐれた教育や先進的な教育を行う地域は、子を持つ親や持とうとする親にとって、住み

続けよう、移住しようという強い動機にもなる。もし市内の学校からアクティブ・ラーニング及びICT活用の一環としてタブレット端末を使った授業の導入を希望する声が上がった場合、市としてそれを支援していく考えは。

【教育長答弁】 今年度、羽咋小学校ではパソコンやプロジェクター、デジタルカメラ等のICT機器を活用しながら研究の推進を図っていく予定だが、今後3年間の研究を実施していく上で、タブレット端末などのICT機器の必要性が出てきた場合には、できる限りその要望に応え、予算要求をしていく。

その他の質問

- ①羽咋市をより積極的にPRすることについて
- ②新規就農・移住の促進について
- ③職員の人材育成および意識について
- ④将来の羽咋市のための新たな取り組みについて



稲村 信成 議員

議会の責務は、 行政のチェックと評価！



羽咋市議会議場

市の経常収支比率は、県内ワースト1位

【質問】 地方財政三大指標の『経常収支比率』が、平成25年度県内ワースト1位：94.9%、平成24年度は98.2%。平成21～25年度は1または2位と最悪である。各種税等々の定期的収入÷市民の生活・安全等々の日常出費との比率。95%以上は財政硬直化市として、総務省のヒヤリングを受ける。『財政力指数』（財政の経済力）、『実質収支比率』（収支バランス）も長期的改善を求める。

【答弁】 経常収支悪化は町村合併をしない事も要因。平成30年度以降は、公債費減少により改善の見込み。人件費の抑制等により財政の改善を行う。

『道の駅』遅くなる程市民の負担が大

【質問】 市長は道の駅を迅速に推進との事だが、

今年設計し来春着工、平成29年度春完成と遅い。新幹線ブームも去り、来春の北海道新幹線・伊勢の主要国サミットと国民の目は離れる。またブランド化の自然栽培生産は後進地。東京オリンピック景気により、益々工事費の高騰も市民は危惧する。目標を定めて強い指導力を出せば、専門家は来年夏には十分完成が可能との事。計画の再検討を求む。

【答弁】 今年各種調査、設計・開発申請。平成28年度造成・建築。平成29年度中の開場を目指す。他にないものを目指す。

その他の質問

- ①補正予算（第11号）について



浜名 等 議員

公共施設の維持管理を見直しせよ！



蓮の花が美しい眉丈台地自然緑地公園

都市公園に幼児を対象とした遊具や休憩施設の整備を

【質問】近年、少子化に伴い子どもが少なくなっていることから、幼児を持つ親子の情報交換の場が少ないと感じる。

幼児を持つ親子が気軽に集まり楽しく遊べるような、幼児向けの遊具やあずまやを持った休憩施設を、都市公園に設置する考えはないか。

【答弁】公園の役割として、親子が自然と触れ合い伸び伸びと楽しく遊ぶ環境を提供し、子どもの健全な成長に寄与する施設であることなども考慮しながら、議員からの提案も含め機能充実を検討していく。

中学生にも改正道路交通法の説明が必要では

【質問】改正道路交通法が施行され、処罰の対象が満14歳以上の全ての人が対象となっており、誕生日を迎えた中学2年生も対象となることから、学校内での生徒に対する周知も必要ではないか。

【答弁】市内の中学校では、毎年4月に、自転車の正しい乗り方を学ぶ交通安全教室を実施している。今後も関係団体の方々の御協力のもと、道路交通法の改正内容を中心に、自転車のルール違反は周囲の歩行者や自動車などに迷惑をかけるだけでなく、自分自身の生命にも関わる危険な行為であることを周知していく。

その他の質問

①街路樹の維持管理について



寺井 哲也 議員

交流から移住へ、羽咋へ来る仕掛けを！



羽咋の街並み（市役所より）

交流人口の拡大

【質問】交流人口の拡大には、まずここ羽咋の地に来てもらうことが第一である。第1回目の峨山道（がさんどう）トレイルランにおける、①羽咋市内での経済効果について。②来年度に向けて。

【答弁】①宿泊は、約200人。市内業者に発注した運営費等で経済効果は最低でも400万円以上。②実行委員会で大会の総括を行い来年の方針を決めるが、現段階では前向きに考えている。

移住・定住の施策の推進

【質問】地域おこし協力隊を活用し、内からの目でなく外からの目で交流人口をどのように移住につなげるか、チャンスをつかむ取り組みが必要で

はないか。

①市外、県外に向けた取り組みについて。②「移住・定住」が目につくホームページやパンフレットについて。

【答弁】①今年は県や全国の自治体と連携し、東京で移住セミナーを3回開催する。そのうちの1つは、首都圏の就農希望者に対して、自然栽培の取り組みや就農支援制度等の説明を行う。9月は、全国の自治体が集まる「ふるさと回帰フェア2015」に参加しPR活動を行う。②ホームページの内容を充実させるとともに、速やかに専用ホームページの開設を進める。また、パンフレット等については、先進地を参考としながら現在作成中である。



山本 泰夫 議員

まち・ひと・しごと地方創生 総合戦略対策



駅前の再開発を

中心市街地の活性化対策

【質問】国づくりの指針となる新たな国土形成計画案は、地域の文化財やまちなみを生かした観光地づくり、地方移住の促進を通じての活性化につなげると強調。地方では人口減少と高齢化が進む中で、都市機能を中心部に集約する取り組みを進め、中心市街地の賑わい、活性化のために地方創生を実現する姿勢を明確にした。都市機能を中心市街地に集約する取り組みをどうするのか。

【答弁】都市機能の集約は、中心市街地の衰退に歯止めをかけると共に、都市の維持費用の負担軽減や公共交通を活用したまちづくりができる。安心して暮らせるまちづくりのためにも重要な取り組みと認識している。国では、支援策が示されており、市民ニーズや財政状況を勘案し集約の取り

組みを検討する。

空き家対策はどうするのか

【質問】空き家対策特別措置法の全面施行により空き家対策が強化された。治安や防災上の問題が懸念される物件については、撤去や修繕の勧告命令ができる規定や税額が最大6倍、行政代執行による強制撤去も可能となっている。市内には危険空き家基準に該当する建物は分類別にどの位か。また市条例制定ができないか。

【答弁】危険空き家基準に該当する建物は、途中累計7%あり、老朽対策が必要である。また条例の制定については、今後の検討課題とする。

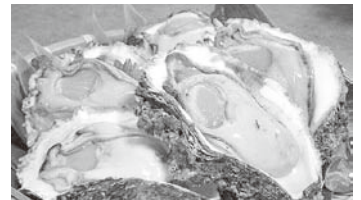
その他の質問

①羽咋駅周辺整備について



浅野 俊二 議員

道の駅 駅周辺整備を急ぎ、 志賀原発は廃炉



海のミルク

駅周辺の整備と活性化を急げ

【質問】①駅東の宅地申し込みの実態と若者が土地購入しやすい定期借地権付き土地制度を導入せよ。内灘白帆台では効果を上げている。②駅西周辺のロータリー広場、アーケード、トイレの改修、タクシー乗場の側溝の整備とロータリーのカラー化もせよ。③旧マルシェ駐車場整備と駅東駐車場の無料化を。

【答弁】①現在2棟の申し込みであり、定期借地権付き分譲は初期投資の軽減が図られ有効であり、分譲の推移を見て検討する。②側溝整備とロータリーは、駐車帯と走行帯を区分し、カラー舗装と景観の向上を図る。③老朽化しており現状では困難であるが検討する。有料駐車場の無料化も検討する。

志賀原発は廃炉に

【質問】原子力規制委員会は、5月13日志賀原発の有識者評価会を開き、断層活動による影響を否定できないと意見が一致した。次回この見解で評価書案を作成すると言われている。3年引き延ばししても結論はクロ。①結論は廃炉しかない、市長の見解を。②市と北電の安全協定の進捗状況。③ヨウ素剤の配付をどうするのか。

【答弁】①今後の評価結果を注視したい。②私が出席した協議、副市長による協議や実務者協議が続いている。立地自治体と同等となるよう求めている。③先進地の情報と国、県の指導のもと取り組む。

その他の質問

①道の駅「はくい」周辺の整備について



大塚 幸男 議員

はくい創生プログラムの 実施急げ



新幹線効果期待の観光地

空き家対策とその活用

【質問】 空き家の現状と将来予測は。空き家特措法が施行されたが、市条例を制定し解体補助など適正管理に取り組むべき。特定空き家にならない前にバンク制度への登録を促し、定住や移住者の受け皿として活用すべき。移住体験住宅を整備している自治体もあり、積極的対応を求める。

【答弁】 住宅統計では空き家率約18%だが、調査中の結果と照合したい。20年後の単純予測では25%の見込み。条例制定は検討課題とするが、今秋には移住体験モニターツアーを実施し、生活体験できるよう移住体験住宅を整備したい。

はくい創生の主力事業の進捗と取り組み方

【質問】 道の駅の経営戦略の構築には、駅長の方針や考え方が最優先だが、駅長候補者の応募状況

はどうか。地産地消や自然栽培など販売品目の運営戦略は重要、取り組みが遅いのでは。

ジビエ活用担当の地域おこし協力隊2人が採用されたが、早急に先進地派遣や実務経験が必要。食肉処理施設の設置をはじめ捕獲体制や加工品の試作など、今後の具体的スケジュールを示せ。

【答弁】 駅長候補者には県内外から24人の応募があり、6月中旬に選定委員会を開き選定する。農産品はモデル地区とJAや地元生産組合と連携を図っていく。協力隊には6月中旬から2ヶ月間、県内外の先進地で、捕獲、運搬、解体、販売までの一連の流れについて研修してもらう。

その他の質問

①北陸新幹線金沢開業による本市の経済効果について



櫻井 英一 議員

「羽咋創生」に向けて 着実な取り組みを！



がんばる羽咋創生プログラム

移住・定住促進策

【質問】 「がんばる羽咋創生プログラム」は、羽咋市の将来を明るくものにできるかどうか、まさに本市の命運を握るプログラムである。4つの重点項目の一つである「地方への新しいひとの流れをつくる」取り組みの中の移住・定住促進策はどのように進めるのか。

【答弁】 移住ワンストップ窓口の強化、市ホームページで移住・定住に関する一元的な情報を提供していく。また、郷土羽咋の発展に寄与することを目的に設立される「関東羽咋会」との連携や本市への移住体験モニターツアーを実施するなど、羽咋の良さを伝える取り組みをさらに推進し、移住・定住に繋げていく。

北陸新幹線開業の効果

【質問】 北陸新幹線開業から3ヶ月、本市では観光地の状況等、開業効果をどのように分析しているか。また今後、北陸新幹線開業の効果を最大限に引き出すための取り組みを聞く。

【答弁】 千里浜なぎさドライブウェイで40%アップするなど、北陸新幹線開業により観光地及び宿泊施設の利用状況はどちらも増加しており、北陸新幹線の効果が数字に表れている。今後は、豊かな観光資源を生かしたさらなる取り組みや、首都圏開催イベントへの出展、銀座のアンテナショップの活用など、県や関係団体と連携しながら本市の観光PRを強化していく。

その他の質問

①耐震改修促進計画について



北川 真知子 議員

就学援助制度の改善を！



運動会

入学準備金の改善を

【質問】子どもの貧困が社会問題になっているが、子育て世代の生活困難に対する支援が必要である。就学援助制度の中に、就学前（小1・中1）に支給する入学準備金、新入学学用品費があるが、支給されるのは7月中頃である。4月の入学を前にして、生活が困窮して入学の準備が整わない家庭もあり、入学準備金は入学前に支給すべきでないか。

【教育長答弁】新入学児童生徒学用品費等は、新入生が通常必要とする学用品及び通学用品の購入費に対して援助を行うもので、入学準備金という援助ではない。

所得要件の確認のため、6月の市民税の確定後、就学援助の認定の可否を決定して支給するので、入学前の支給はできない。

保育所の統廃合について

【質問】羽咋市子ども・子育て支援計画では、保育所入所児童数60人未満である保育所の統廃合を進めるとしている。子育て支援、地域のコミュニティに果たす保育所の役割を考えると、「効率」だけでは測れないと思うが、保育所の統廃合は関係地域の合意なしに進めないことを求める。

【答弁】具体的に保育所の統廃合を検討する際には、保護者、地元の意見を伺い、理解を得ながら進める。

その他の質問

- ①「平和安全法制」について
- ②志賀原発の再稼働について
- ③介護予防・日常生活支援に係る新総合事業について

平成27年 第2回定例会 6月議会

◇平成27年度の一般会計補正予算をはじめ全議案を可決

平成27年度一般会計補正予算など議案3件、報告8件を原案のとおり可決、承認。また人事案件1件を同意した。請願については1件を採択、1件を継続審査、3件を賛成少数で不採択とした。

■全会一致で議決された議案

	議 案 名	議決結果
議員提出議案第3号	教育予算の拡充を求める意見書の提出について	可 決
市長提出議案第34号	平成27年度羽咋市一般会計補正予算（第1号）	可 決
市長提出議案第35号	平成27年度羽咋市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可 決
市長提出議案第36号	千里浜財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意
請 願 第 4 号	国の教育予算の拡充を求める意見書提出の請願	採 択
請 願 第 7 号	TPP交渉に関する請願	継続審査

■意見が分かれた議案

○は賛成 ×は反対 欠は欠席

	議 案 名	松永幸則	浜名等	北川真知子	寺井哲也	櫻井英一	稲村信成	大塚幸男	新田義昭	高田基哉	塩谷久司	中村重幸	中村孝清	山本泰夫	浅野俊二	議決結果
請願第5号	「平和安全法制」に反対する意見書の提出を求める請願	×	×	○	×	×	×	×	議長は採決に加わりません	○	×	×	×	×	○	不採択
請願第6号	「平和安全法制整備法」および「国際平和支援法」関連法案の撤回を求める意見書を政府に送付する請願	×	×	○	×	×	×	×	議長は採決に加わりません	×	×	×	×	×	○	不採択
請願第8号	米価暴落対策の意見書提出を求める請願	×	×	○	×	×	×	×	議長は採決に加わりません	○	×	×	○	×	○	不採択

総務民生委員会報告

◎塩谷 久司 ○寺井 哲也 浜名 等 新田 義昭
高田 甚哉 山本 泰夫 浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第34号「平成27年度羽咋市一般会計補正予算第1号」中、当委員会所管分など議案1件、報告8件及び請願2件。

慎重に審査を行った結果、議案2件及び報告8件については、全会一致をもって原案のとおり可決、承認した。

請願第5号「平和安全法制に反対する意見書の提出を求める請願」、請願第6号「平和安全法制整備法」及び「国際平和支援法関連法案の撤回を求める意見書を政府に送付する請願」については、賛成少数により不採択とした。

また、当委員会に送付された陳情1件については、聞き置いた。

以下、審査の過程での主な質疑及び要望は以下のとおり。

【質問】空き家情報登録推進事業について、一戸建て住宅関係だけでなく、集合アパート関係の危険な空き家も多くなっており、これらも含めて対策を考えるこ

とが大切ではないか。

【答弁】4月から6月にかけて各町会の協力で、まず、住宅を中心とした空き家の現状調査を行っている。アパート等は、その後の課題としていきたい。

【質問】住民情報システム管理事業について、マイナンバー制度が導入されるが、個人情報のデータ管理問題の対応はどう考えているのか。

【答弁】プライバシー保護の問題は、国の対策の進捗状況を確認しながら対応を検討していきたい。

その他、特別養護老人ホームの整備について、農地中間管理機構関係の農地管理について、道の駅を整備する土地及びその周辺の計画について、中邑知地区の集落排水事業の改修などについての質疑、答弁がなされた。

産業文教委員会報告

◎大塚 幸男 ○松永 幸則 北川 真知子 櫻井 英一
稲村 信成 中村 重幸 中村 孝清

当委員会に付託された案件は、議案第34号「平成27年度羽咋市一般会計補正予算」中、当委員会所管分など、議案1件、報告1件及び請願3件。慎重に審査を行った結果、議案34号「平成27年度羽咋市一般会計補正予算」、報告第3号「平成26年度羽咋市一般会計補正予算の専決処分の報告について」の2件については、全会一致をもって原案のとおり可決、承認した。請願第4号「国の教育予算の拡充を求める意見書提出の請願」については、全会一致により、採択した。請願第7号「TPP交渉に関する請願」については、なお審査の必要があるとのことから、継続審査とした。請願第8号「米価暴落対策の意見書提出を求める請願」については、賛成少数により不採択とした。

審査過程での主な質疑・要望は以下のとおり。

【質問】コミュニティ助成事業について、今年度は吉崎町会へ獅子舞用具等の改修助成に決定したが、どのように助成町会を決定しているのか。

【答弁】毎年2町会程度助成を受けている。選考については、過去の助成や地域的な状況等を考慮して決定

している。

【質問】地域おこし協力隊の雇用期間及び雇用終了後の状況はどうなるのか。

【答弁】雇用期間は3年であり、その期間に自立してほしいと考えている。採用時には、雇用終了後も羽咋市に残り起業したい意向を確認している。

【質問】道の駅整備状況について聞く。

【答弁】現在、測量についての契約を発注している。基本設計については、プロポーザル方式を実施、申込みの受付は終了している。今月末までに事業者から提案を受け、7月に審査する予定。また、開発行為等については、9月頃に契約を発注する予定。

その他、地方創生における人口減少対策の取り組みについて、羽咋駅東口の宅地造成について、ジビエ加工処理の場所について、地域おこし協力隊について、道の駅整備の調整池の安全対策などについて質疑、答弁がなされた。

市民の声

千里浜IC周辺の施設整備について

Y.S (本町・60才代・男性)

千里浜IC周辺施設整備の内、「道の駅」が話題となっておりますが、先日、行政との懇談会で説明が有り概ね理解できたところです。

それまでは、何故この時期なのか、この場所か、この規模か、費用対効果など疑問を持っていたのは、私だけでしょうか？

今回の説明会は全て事後報告であり、計画・立案時から市民の意見が反映する市民参加型の討論が行われることが望ましかったのではと思われま

す。
今後、当施設は観光交流拠点、交流人口の拡大、地域経済の活性化になる様、行政の営業努力に期待するものです。「道の駅」が決して将来の負の遺産にならぬ様に、議会でも活発な議論を行い、市民に解りやすい政策になることを議員各位にお願いします。

市議会議員各位に行政と民間ボランティア団体との積極的な「橋渡し役」を願う

R.W (旭町・70才代・男性)

羽咋市には、羽咋市にしかない観光スポット、伝統文化が多数あります。また、これらを盛り上げようと積極的に活動する素晴らしい各種民間ボランティア団体等も数多くあります。

つきましては、各種ボランティア団体等が個々に活動するのではなく、行政が“扇の要”となり、行政と各種ボランティア団体等が連携し、協働して、今一度羽咋市への誘客改善策を講じ、羽咋市の振興と将来的移住定住に繋げて欲しいものです。

市議会議員各位には、この施策実現の為、行政と民間ボランティア団体等との連携と協働の「橋渡し役」を、是非とも積極的をお願い致します。

お知らせコーナー

「市民の声」を募集

議会だより編集委員会では、市民の皆様の声を募集しています。議会に対しての感想などがありましたら、下記までお気軽にお寄せください。

〒925-8501 羽咋市旭町ア200 羽咋市議会事務局 ☎22-7160 FAX 22-7210
Eメール gikai@city.hakui.lg.jp

傍聴してみませんか

市庁舎5階の議場入口で、住所、氏名、年齢を記入するだけで自由に傍聴できます。次の議会定例会は9月上旬に開催予定です。一度、傍聴してみませんか。

●インターネットでも視聴できます

羽咋市議会では、本会議の審議状況を市のホームページで映像配信（生中継）しています。また、

録画映像も配信しており、常任委員会についてもご覧いただけます。

●アクセス方法

「羽咋市公式ホームページ」を開き、トップページ左欄の「議会」をクリックし、「インターネット議会中継」の欄から視聴したい項目をクリックしてください。

会議録、閲覧できます

市議会だよりに掲載されている質疑・質問は、議会で発言された内容の一部です。定例会の内容は、会議録にすべて記載されています。詳しくは、図書館、議会事務局、公民館で会議録をご覧ください。市のホームページにも掲載しています。

なお、平成27年6月議会の会議録は、9月上旬に閲覧できる予定です。

編集後記

市民の皆様の中には、NHKの朝ドラ「まれ」を見ている方も多いと思います。ドラマはご存知のとおり輪島が舞台となっており、会話には能登の方言がふんだんに使われていることから、親近感の持てる楽しいドラマです。

主人公の希とその家族は、東京から輪島に移住してきた設定であり、ドラマの中の出来事は、置き換えれば本市が移住定住策を進める上で発生する、多くの問題点を凝縮しており、大変勉強になるドラマになっています。

本市では4月より、移住を考える人達のために、移住支援策を一元化したワンストップ窓口の設置や、東京での石川県主催の移住セミナーへの参加、首都圏在住の羽咋市出身者で構成する「関東羽咋会」の設立など、積極的に情報発信をしており、私たち議会もその効果を期待するところです。

また、10月に策定される羽咋市の総合戦略の推進にあたっては、私たち議員も羽咋市創生へ向け、力を合わせ全力で取り組んでまいります。

(浜名 等)

議会だより編集委員会
(☎0767-22-7160)

委員長	寺井 哲也
副委員長	松永 幸則
委員	櫻井 英一
	浜名 等
	北川真知子